



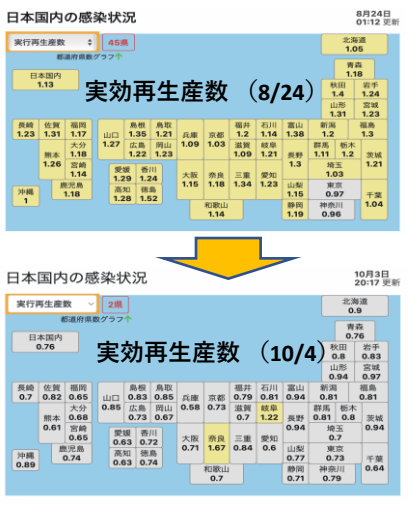
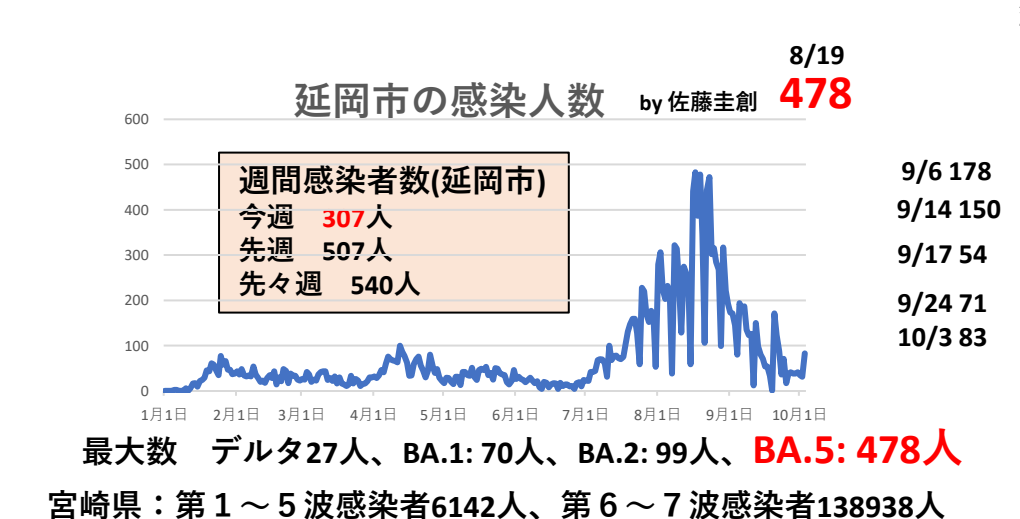
宮崎県DATA (10/3)
医療機関入院中64名(延25)
宿泊療養施設入所中25名(延11)
入院ベット専有率(宮崎県17.3%)
(延37.8% (実働52.0%))

県延 3/16, 医師会 5/13, 共立 18/16, 平田東0/2, 吉田0/2

1回目	104,219,942人	81.5%
2回目	102,852,039人	80.5%
3回目	82,390,386人	65.4%
4回目		27.7%

※4回目の接種人数：34,866,324人
※出典：厚生労働省 (10/27現在)

9月初旬の学校再開、2度の連休で増加があるものの、9月後半には減少する、さらに10月上旬の連休で少し増加するもその後は減少傾向を辿る (BA.5のみの感染拡大なら)。
 宮崎県は、5日から警戒レベルを「医療警戒」に引き下げ現在は制限されている高齢者施設での面会が、少人数であれば可能になる。また、県の認証を受けていない飲食店についても、「1テーブル4人以下、2時間以内」の制限がなくなる。



感染症は割合（％）ではなく、総数が問題

新規陽性者数の推移（日別）

情報更新日：2022年10月04日

新規陽性者数

39,723 人

前日比 **↑ 24,556** 人

1週間平均

35,514 人

前週平均

54,489 人

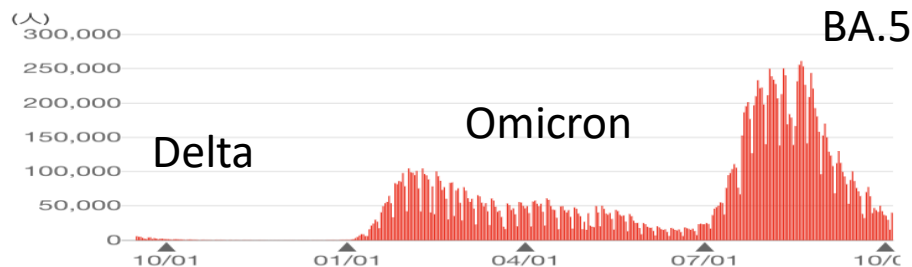
グラフ表示期間

1週間

1か月

3か月

1年



入院治療等を要する者等推移

情報更新日：2022年10月04日

入院治療等を要する者

483,653 人 **↓ 7,320** 人

退院又は療養解除者数

20,405,373 人 **↑ 4,462** 人

確認中

451,553 人 **↑ 42,516** 人

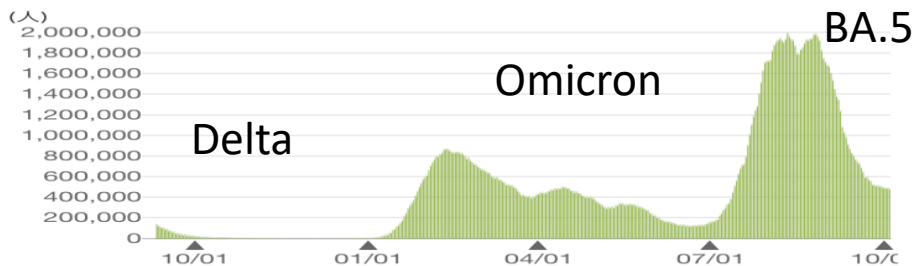
グラフ表示期間

1週間

1か月

3か月

1年



オミクロン株、特にBA.5の方が死亡者数多い

過去最高 9/2：347人

死亡者数の推移

情報更新日：2022年10月04日

死亡者数

65 人

前日比

↑ 12 人

グラフ表示期間

1週間

1か月

3か月

1年



連休効果

重症者数の推移

情報更新日：2022年10月04日

重症者数

167 人

前日比

↑ 5 人

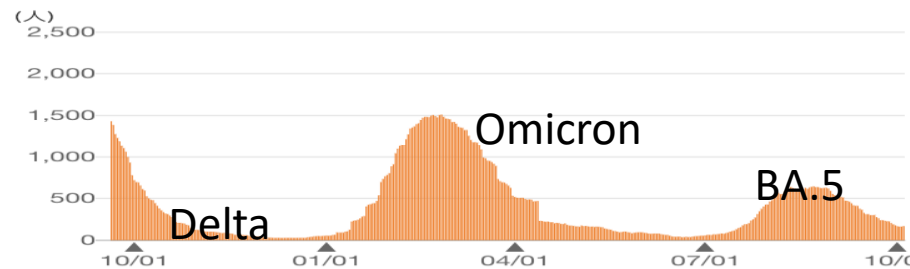
グラフ表示期間

1週間

1か月

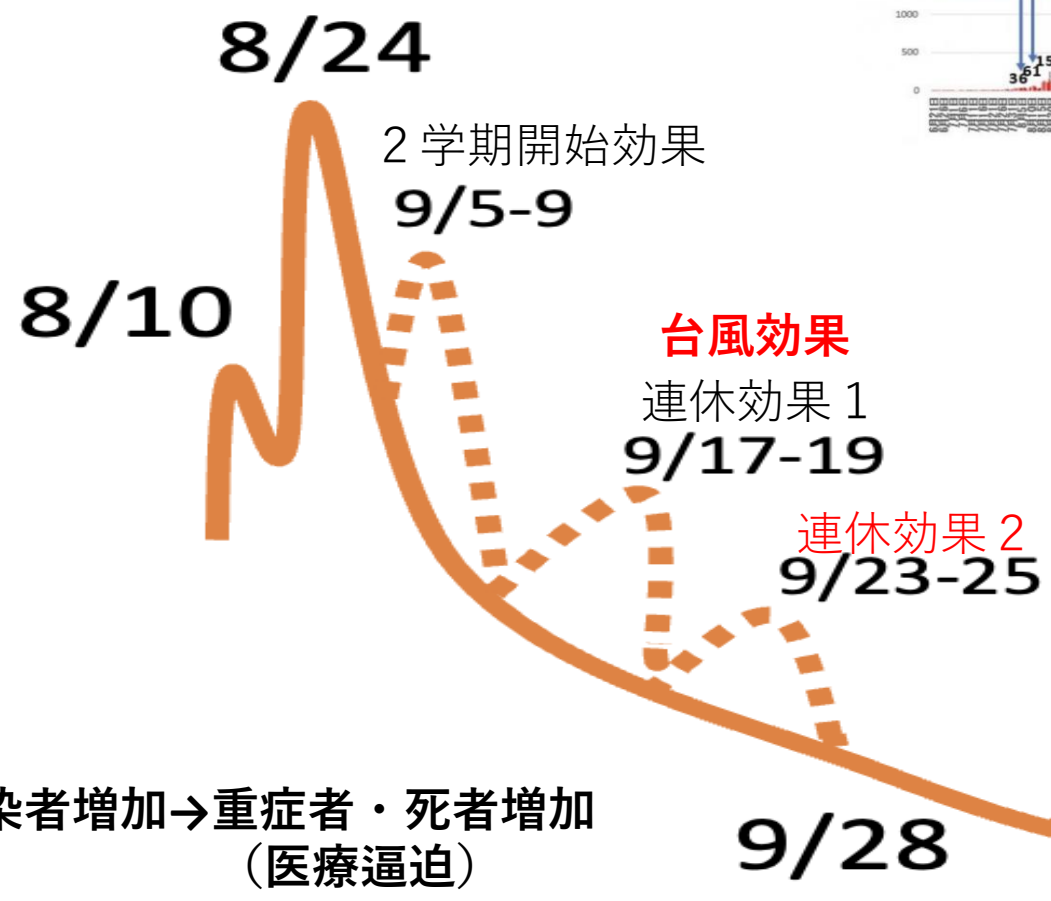
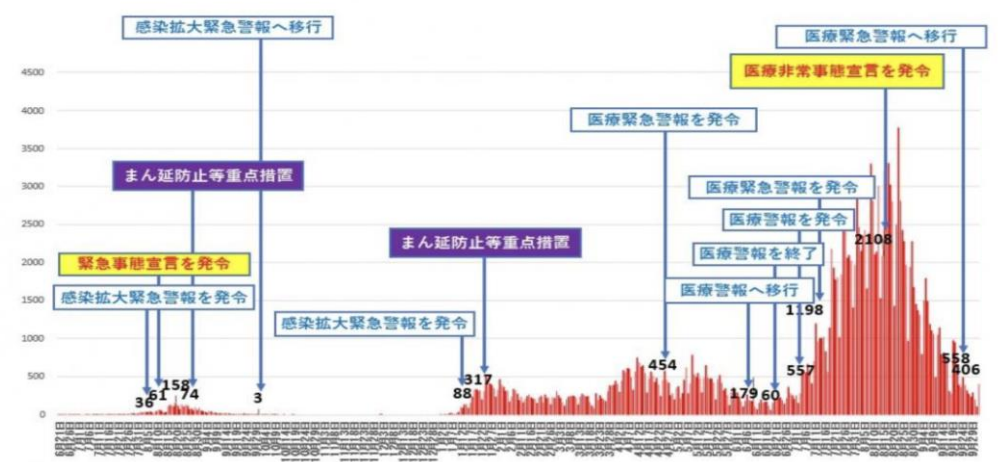
3か月

1年

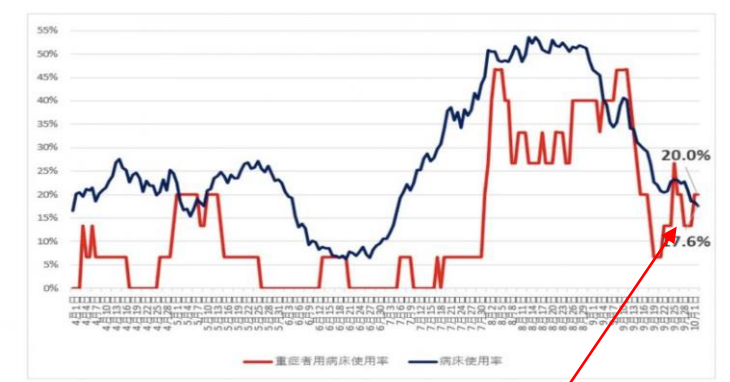


施設で亡くなった人は重症者にカウントされない

全体的な流れは、ピークアウトして減少傾向
 全国1位の感染者数（10万人当たり）
 高齢者施設でのクラスターに注意
 次の連休で多少の増加はあり
 ケンタウロスは、今のところ増えていない（拡散確率は減少60%→40%）



宮崎県の病床使用率 令和4年10月3日時点



連休効果2

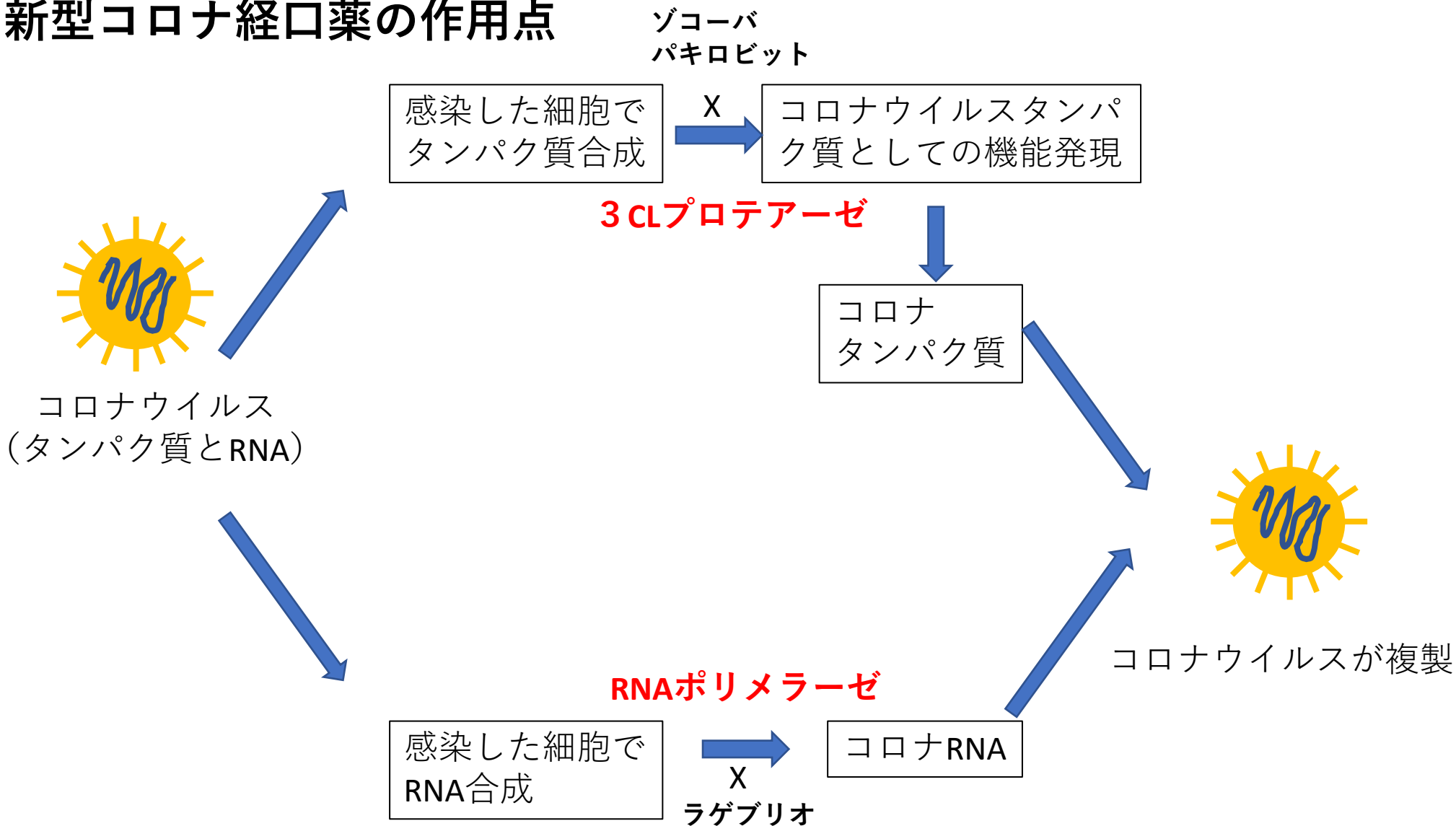
11月後半まで小康状態か？

新型コロナウイルス経口治療薬『ゾコーバ』について

- ゾコーバ（エンシトレルビル、塩野義）
- 現在までの経口薬で、軽症から中等症向けの薬なし。
- ラゲブリオやパキロビットは、重症化リスクのある人が対象。
- インフルエンザにおけるタミフル（オセルタミビル）の様な存在
- 12歳以上で使用可能
- ゾコーバ(150mg) 1日1回1錠を3日間服薬
- 承認されれば、100万人分国内供与。1000万人分の製造可能。
- 作用機序： 3CLプロテアーゼ阻害作用によりウイルスの増殖を抑制する
- 強力なウイルス増殖抑制効果：細胞、動物、ヒトの臨床試験でも証明された（3回投与で著明なウイルス量減少効果）。
- 7月緊急承認見送り：一般的なコロナ特有の12の症状（オミクロン以外のコロナに多い症状も含む）では有効性の確認できなかったため
- 9月末、オミクロン株に特有な5つの症状（咳、発熱など）に絞って再検討した結果、症状の期間が24時間短縮されることが確認→有効性の証明ができた→再検討
- 感染症学会、化学療法学会：7月の承認見送りは誤り、承認されていれば第7波の医療崩壊は防げた→厚労省に提言
- 海外戦略： 中国、韓国で申請（日本より先に承認されるかも）、米国、英国、欧州（EU）でも申請準備
- ゾコーバを低中所得国に広く提供するライセンス契約取得した
- 問題点：CYP 3Aの阻害作用あり、相互作用に注意必要。催奇形性あり妊婦に使用禁忌

ゾコーバが承認使用されれば、コロナの治療が根幹から変わる→
重症化抑制の治療から、**全コロナ患者対象とした治療へ**

新型コロナウイルス経口薬の作用点



By 佐藤圭創

経口新型コロナウイルス治療薬の比較

	塩野義社 ゾコーバ (エンシトレルビル)	メルク社 ラゲブリオ (モルヌピラビル)	ファイザー社 パキロビットパック (パキロビット)
薬剤			
有効性	臨床症状改善 体内ウイルス量減少	入院・死亡者 3 割減* 体内ウイルス量減少	入院・死亡者 9 割減* 体内ウイルス量減少
作用	3 CLプロテアーゼ阻害 (ウイルス蛋白の活性化抑制)	RNAポリメラーゼ阻害 (ウイルスRNAの合成抑制)	3 CLプロテアーゼ阻害 (ウイルス蛋白の活性化抑制)
使用法	ゾコーバ錠を 1 回1錠、1 日 1回、 5 日間経口投与	ラゲブリオカプセルを 1 回 4 カプ セル、1 日 2 回、5 日間経口投与	ニルマトレルビル 1 回 2 錠、リトナビル 1 回 1 錠を同時 に 1 日 2 回、5 日間経口投与
注意点	CYP3Aの阻害作用あり、相互作用に注意 必要。妊婦に使用禁忌	妊婦に使用禁忌	併用禁忌・併用注意薬多数あり
対象	軽症～中等症、12 歳以上	重症化リスクある人、18 歳以上	重症化リスクある人、12 歳以上
承認	承認再申請	承認済	承認済

* 流行株が異なる時期での臨床試験での結果のため、実際は有効性に差はないと考えられる